

今日的課題と生活の見直しの両面からエネルギーをとらえる学習

1・単元の目標

- ・身近な生活からエネルギーにかかわる自分なりの課題をもち、調べることができる。(課題をもつ力)
- ・今日的なエネルギー問題をエネルギーと環境の両面からとらえ直し、自分の生活に生かそうとする。  
(粘り強く追求する・豊かに表現する)

2・単元構成(25時間扱い)

**子供の意識の流れと主な学習活動**

1	平成16年 台風18号	もし電気が なくなったら	ハリケーン カトリーナ
2	第1次調査活動 エネルギー調査隊		
3	未来の日本のエネルギーは大丈夫?		
4	地球温暖化で何 が問題に?	化石燃料は後何年?	自分でエネルギーを 作る?
5	日本の発電方法 は	未来型のエネルギー は?	外国のエネルギー状況 は?
6	今のままではだめ!何とかしないと!		
7	どうして札幌市はHIDAMARIに 雪冷房を取り入れたのだろうか?		
8	環境 二酸化炭素が出な いエネルギー 自然に優しい	北海道ならではの雪や寒 さを生かした エネルギー 43年損を しても	エネルギー 石油は残り少ない ね
9	北海道は自然エネルギーに適している! 自然エネルギーこそ未来のエネルギー!?		
10	第2次調査活動 自然エネルギー調査隊		
11	風力 エネルギー ヒートポンプ	バイオマス 雪氷 エネルギー	太陽光 エネルギー 地熱エネルギー
12	北海道は自然エネルギーにぴったりだ!!		
13	新エネルギーは日本の全エネルギーのたった2%? 新エネルギーだけに頼るわけにはいかないね		
14	自分たちでも出来る省エネルギーを実践しよう		
15	電気のつけ消しを こまめに	待機電力を 少なくしよう	冷暖房 ウォームビズ
16	くらい中でのご飯 冷たい便器 我慢してまで省エネルギーって?		
17	何度もチャレンジしてみよう!! 出来ることから少しずつ続けることが大事だね		
18	地球まもり隊宣言書を発行しよう		

身近な事象から単元を貫く  
問題意識を醸成する

「もしも作文」を書くこと  
で、子供たちは事象を自分  
の生活に近づけることが出来  
、より具体的な問題意識  
を醸成する手助けとなる。

「問題意識の醸成から個人  
課題へ」

停電という事象からエネ  
ルギーの問題に目を向け個人  
課題の設定をしていった。  
その際に教師から「地球  
温暖化」「発電方法」「外国  
の状況」「エネルギー資源」  
などにかかわる事象の提示  
を行い子供がそれぞれの興  
味関心や追求の見通しから  
個人課題を設定することが  
出来るようにかかわることが  
必要です。

地球温暖化や、エネルギー  
資源の現存量などから、「こ  
のままで日本、世界のエ  
ネルギー問題は解決しない!!  
大変だ!!」という  
問題意識を持っている子供  
たちに「自然を利用した」  
エネルギーの実例を提示し  
た。

「環境に優しい」「残り少  
ない化石燃料を使わなくても  
すむ」自然エネルギーを調  
べるための興味関心をわか  
せ、調べる意欲付けを行う。

全てを新エネルギーに頼るわ  
けに行かないという問題意識  
から、自分たちでも出来るこ  
とはないかという実践への意  
識を高める。

実践を終えて

様々な問題意識から調べを進めて行った子供たちだったが、次第に「自分が出来ることを考えなくては」という視点に目を向けていった。教室の室温を20度以上にあげない取組や、エコバックを持って買い物に行く取組、教室を暗くしないで、節電する方法、待機電力を極力減らす取組、教室で給食後始末にトイレトロールを使わない取組など、自分の生活を見直し地球に優しい生き方をしたいという意欲があらわれて来ている。